

別表 小規模調査等概要

調査次数	概	要
234-1	平城宮内。市庭古墳前方部内。地山面を確認。土器, 平瓦少量。	
234-4	平城宮北方。地山面を確認。土器片, 瓦片少量。	
234-5	平城宮北方。近世以降の建物, 溝, 土坑。土器, 平瓦少量。	
234-7	平城宮北方。中世・現代の土坑。中世以降の丸瓦, 平瓦少量。	
234-8	薬師寺旧境内。龍蔵院の池（近世の絵図に描かれている）。遺物なし。	
234-13	大膳職北方。近代の池によって遺構面削平。遺物なし。	
234-14	平城宮北面中門西南方。奈良時代の柱穴2個。遺物僅少。	
234-16	左京三条一坊七坪。地山面を確認。遺物僅少。	
234-17	平城宮北方。中世末の超昇寺城の濠2条。中近世遺物あり。	
234-18	平城宮北方。地山面を確認。調査区全体が溝の中か。遺物僅少。	

表紙カット

第229次調査出土の平城宮 I 式鬼瓦

蹲踞した鬼の全身像を表わしたもの。舌を出し顎鬚をのばす顔面, 胸や腕の筋肉の盛上がりなど, その表現は写実的である。平城宮の最初の造営に当たって統一的に使われたもので, 宮内各所から出土している。